

はじめて出会うひと・もの・こと

～子どもの発達と探求に合わせた多様な遊び環境～

2026.9.7 やざき乳児保育園

0歳児は日々「はじめて出会う」ことの連続です。はじめてに興味津々で近づく子もいれば、不安げに遠くから眺めて見ている子もいます。一人ひとりアプローチの仕方は異なります。はじめての出会いが楽しい経験となるよう子どもの思いに共感しながら見守り、サポートすることを大切にしています。



保育者は子どもたちの前で意図的に風船を膨らましてみました。ぐんぐん大きくなる風船を怖がる子もいれば、しぼんだ風船を触りに来る子もいました。触って、音を聴いて、なめて感触を確かめていました。



園庭に出てみました。芝生の上に足を置いた瞬間、両足の指にぐっと力を入れ、足の裏を地面から浮かせようと必死でした。自分の足で芝生の感触を初めて感じましたよ！



遊具の四隅にある小さな穴を発見しました。とにかく一個一個の穴に指を入れて確かめていました。「何かな？」と探索活動が盛んです！



新入園児にとってお兄ちゃんとのはじめての触れ合い。優しく手を差し伸べてくれたので思わずっこり笑顔でした。人とのかわりのスタートですね！

